

(3) 運輸業界・検知器業界からみたアルコール・インターロック装置の活用可能性と課題

平成20年度 第2回「常習飲酒運転者の飲酒運転行動抑止に関する調査研究」委員会
(平成21年1月27日 15:00-17:30開催) 発表資料

アルコール・インターロック

セクター別アプローチ 運輸業界・検知器業界からみた アルコールインターロックの活用可能性と課題



- ◆業務用検知器とインターロックの関係
- ◆点呼とインターロック
- ◆インターロック業務利用における課題

「飲酒運転の根絶への取り組みについて」「常習飲酒運転者対策の推進について」 (内閣府・中央交通安全対策会議 2008年1月11日)

1. アルコールの影響や専門相談機関等の周知
2. 様々な機会をとらえた飲酒行動是正のための働きかけ
3. 運転免許の処分者講習の充実および常習飲酒運転者の早期把握等
4. 飲酒運転に関連する交通事犯受刑者及び保護観察対象者の処遇等の充実
5. 飲酒行動是正のための事業者(一般企業)への働きかけ
6. [自動車運送事業者等に対する働きかけ](#)
7. [アルコールインターロック装置の活用方策についての検討](#)
8. 各種調査の実施

検知器メーカーの立場

政府	•各行政、団体への周知
地方公共団体	•職員の厳罰化、各下部組織への広報、教育現場
行政	•都道府県警による取締り、キャンペーン強化
司法・立法	•厳罰化、同乗罪、車両提供罪、酒類提供罪の法制化、
交通関連企業	•アルコール検知器の活用、助成金、運転士への飲酒に関する教育
飲食関連企業・商工会議所	•広報ポスターなど
一般民間企業(車両に関係しない)	•飲酒行動に関する従業員教育など
産業界(自動車メーカー)	•飲酒運転防止車両の技術開発。アルコールインターロックなど。
産業界(検知器メーカー)	•高信頼性の検知器、司法に耐える検知器、アルコールインターロック
NPO	•啓蒙活動、専門機関、依存症対策の団体などの教育プログラム